

令和6年度入学試験問題

総合問題(教育支援専門職養成課程・心理コース)

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 解答はすべて別紙解答用紙に記入ください。
3. 解答用紙は3枚です。
4. 解答方法が論述方式の場合は、1マス目から書き始め、1文字空けたり、改行したりせずに横書きで書き進めください。
5. 各解答用紙には、受験番号を記入する欄がそれぞれ1箇所あります。
6. 試験終了後、問題冊子は持ち帰りください。

問題 以下は、ある民族学者による著書の抜粋です。文章を読んで以下の問に答えなさい。

この箇所は著作権の関係で表示できません。
掲載の許諾が得られましたら、表示いたします。

この個所は著作権の関係で表示できません。
掲載の許諾が得られましたら、表示いたします。

この個所は著作権の関係で表示できません。
掲載の許諾が得られましたら、表示いたします。

この個所は著作権の関係で表示できません。
掲載の許諾が得られましたら、表示いたします。

- 注1 帳箱(ちょうばこ)…帳簿や筆記用具などを入れておく箱のこと
- 注2 九学会連合(きゅうがつかいれんごう)…日本民俗学を支えた渋沢敬三の提唱により、1947年(昭和22年)に人間科学に関係の深い6つの学会の組織から発足し、相互啓発と普及および学術交流を目的とした団体等のこと。
- 注3 給人(きゅうにん)…戦国時代に、大名被官として所領を保障され在地支配を行なった武士や代官のことを指す。江戸時代であれば、蔵米の代わりに知行地を与えられた武士と同義
- 注4 郷士(ごうし)…江戸時代の武士階級(士分)の下層に属した人々を指し、武士の身分のまま農業に従事した者あるいは武士の待遇を受けていた農民と同義
- 注5 理窟(りくつ)…理屈と同義

※本文中には、今日の人権擁護の見地に照らして不相当と思われる語句や表現がありますが、作品発表時の時代的背景を考え合わせ、また著者が故人であるという事情に鑑み、底本どおりとしました。

宮本 常一(1984). 忘れられた日本人. 岩波書店. p.12-20 より一部改変

問 1 下線①について文章を踏まえ、著者がどうしてそのように感じるに至ったのかについて、あなたの考えるところを 200 字以内で述べなさい。

問 2 下線②について文章を踏まえ、なぜそのようなことがいえるのか 300 字以内で述べなさい。

問 3 文中の(③)に最も当てはまると考えられる比喩表現を入れなさい。

問 4 この文章は、刊行された当時から数十年を経た現在の世の中で忘れられつつある「寄りあい」について書かれたものです。忘れられつつある社会的背景とそれによって生じうる事柄について 300 字以内で述べなさい。